

2015年全国大会・東部部会・西部部会プログラム

全国大会

第1日目

日 時：2015年11月7日（土） 9：55～17：25

会 場：日本大学三崎町キャンパス

開会の挨拶（9：55）

個別研究報告会 午前の部（10：00～12：15）

【セッションA 座長：梶田幸雄（麗澤大学教授）】

A-1 「法学未履修者の国際商取引法学習と、地方都市での国際業務」

報告者：高崎 登（マニー株式会社）

コメンテータ：阿部博友（一橋大学教授）

A-2 「FTA環境下におけるHRMの変化と国際商取引」

報告者：河野公洋（岐阜聖徳学園大学教授）

コメンテータ：絹巻康史（国際商取引学会元会長）

【セッションB 座長：小田 司（日本大学教授）】

B-1 「CISG 適用排除の判断基準」

報告者：小池未来（同志社大学博士後期課程）

コメンテータ：久保田隆（早稲田大学教授）

B-2 「英米法系諸国からみた大陸法系諸国のハイブリッド仲裁

—日本における国際商事仲裁の立場と展望—」

報告者：坂本力也（日本大学教授）

コメンテータ：浜辺陽一郎（青山学院大学教授・弁護士）

ランチョンセミナー（12：45～13：45）

「CLOUTの事例から見たロシアにおける外国仲裁判断の承認・執行の実情」

講演者：富澤敏勝（国際商取引学会元会長）

個別研究報告会 午後の部（14：00～16：15）

【セッションA 座長：藤川信夫（日本大学教授）】

A-3 「貿易に関する法政策と税関の役割—新倉庫制度の創設に向けて—」

報告者：本間久康（神戸税関調査官）

コメンテータ：河野公洋（岐阜聖徳学園大学教授）

A-4 「請求払保証取引への TSU-BPO(URBPO)活用提言」

報告者：花木正孝（近畿大学准教授）

コメンテータ：佐藤武男（グローブシップ株式会社・横浜商科大学非常勤講師）

【セッションB 座長：阿部道明（中央大学教授）】

B-3 「国際商事仲裁と国際商事裁判：競争と協力のための関係理論に向けて」

報告者：齋藤 彰（神戸大学教授）

コメンテータ：高杉 直（同志社大学教授）

B-4 「The Japanese Experience with Investor-State Dispute Settlement」

報告者：James Claxton（神戸大学教授）

コメンテータ：古屋邦彦（元九州国際大学教授）

総 会（16：30～17：25）

懇親会（17：30～）

第 2 日目

日 時：2015年11月8日（日）

会 場：日本大学三崎町キャンパス

シンポジウム 午前の部（10：00～12：00）

【TPPの商取引への影響】

座長・コーディネーター：齋藤憲道（同志社大学スーパーバイザー）

1. 個別報告（10：00～11：40）

1) TPPの概要～国際商取引の観点から～

みずほ総合研究所株式会社 政策調査部

上席主任研究員 菅原淳一

2) TPP交渉の主な論点

① ICT関連ビジネス等の発展と通商ルールの現代化に係る諸問題

－ルールの現代化

－ビジネス界からの要望

－最近のホット・トピック（ローカル・リクワイアメント等）

－TPP交渉での新ルール実現への期待

一般社団法人情報サービス産業協会

パブリック・ポリシー委員会委員・通商政策担当 大澤 浩

② 知的財産に係る諸問題－医薬品産業を中心として

- －実務面での留意事項（医薬品産業への影響）
- －新規医薬品の開発促進と後発医薬品へのアクセス問題（医薬品データ保護期間等）

知的財産戦略ネットワーク株式会社

代表取締役社長 秋元 浩

③ TPP等のサプライチェーン・投資等立地条件に及ぼす影響

- －特恵関税は、どうすれば使えるのか
- －原産地規則及び累積規則により企業が受ける影響と責務
- －取引契約において考慮すべき条項

ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所

外国法事務弁護士（ワシントンD.C.及びニューヨーク州）

梅島 修

2. 全報告者との質疑応答 11:40～12:00 (20分)

「TPP時代のビジネスの留意点」

東 部 部 会

日 時：2015年7月18日（土）13：00～17：00

場 所：田中八重洲ビル 2 A会議室

プログラム：

【1】研究報告「TPPと農地法」

報告者：金光寛之（高崎経済大学准教授）

コメンテータ：根田正樹（日本大学教授）

【2】統一テーマ

司 会：中村 進（日本大学教授）

「日本における国際商事仲裁の不振とその改善策について」

矢倉信介（パートナー・Orrick東京オフィス）

「日本における仲裁弁護士の視点から」

James Claxton（神戸大学大学院法学研究科）

「海外の仲裁法律家としての視点から」

平尾一成（住友ゴム工業株式会社）

「日本の企業法務の立場から」

齋藤 彰（神戸大学教授）

「日本法のExpert Witnessとしての視点から」

コメンテータ：Daniel Allen（アソシエイト・Freshfields 東京オフィス）

【3】パネルディスカッション

「日本における国際商事仲裁の不振とその改善策について」

パネリスト：

矢倉信介（パートナー・Orrick東京オフィス）

James Claxton（神戸大学大学院法学研究科）

平尾一成（住友ゴム工業株式会社）

齋藤 彰（神戸大学教授）

西部部会

日 時：2015年4月26日（日）13:30～17:30

会 場：神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ 梅田ゲートタワー 8 F

プログラム：

ミニ・シンポジウム「特許の国際取引法」

1. 特許売買

志馬康紀（一般財団法人知的財産研究所主任研究員）

2. 特許ライセンス

関 浩徳（Acacia Research group LLC, Senior Vice President and General Manager, Asia）

3. 特許担保法制

佐藤育己（京都産業大学法学部助教）

4. 中国における専利ファイナンス法制に関する一考察

井手李咲（一般財団法人知的財産研究所研究員）

AIBT主催第8回模擬仲裁日本大会

日 時：2015年2月22日（日曜日）9：30～17：00 懇親会 17：30～19：00
会 場：神戸大学六甲台第1キャンパス第2学舎（法学部・法学研究科棟）
共 催：日本商事仲裁協会大阪事務所・日本仲裁人協会関西支部・神戸大学法学研究科

第8回模擬仲裁日本大会が、国際商取引学会の主催により2015年2月21日・22日に神戸大学六甲台キャンパスで開催された。今回は、全国から9チーム（北大・早大・早大・一橋・名大・京大・京産大・同志社・神大）の参加があり、過去最大規模の大会となった。参加学生は111人、仲裁人27人、各大学チームのコーチ8人が参加した。

【仲裁人役】（順不同・敬称略）

河端 雄太郎	（西村あさひ法律事務所）
Mr. Tony Andriotis	（Hughes Hubbard & Reed）
Mr. Michael Mroczek	（奥野総合法律事務所）
児玉実史	（北浜法律事務所）
大貫雅晴	（日本商事仲裁協会(JCAA)）
小川新志	（日本商事仲裁協会(JCAA)）
Mr. Jeremy Bloomenthal	（シティニューワ法律事務所）
手塚祥平	（東町法律事務所）
井口直樹	（長島・大野・常松法律事務所）
Mr. Christopher Hunt	（Herbert Smith Freehills）
大森雄一郎	（ベーカー & マッケンジー法律事務所）
名越真子	（岡田春夫総合法律事務所）
澤井 啓	（大阪市立大学）
Mr. Daniel Allen	（Freshfields Bruckhaus Deringer）
姜成賢	（弁護士法人ブリッジルーツ）
瀧本正太郎	（京都大学）
小林和弘	（大江橋法律事務所）
豊島ひろ江	（中本総合法律事務所）
Mr. Jiri Mestecky	（北浜法律事務所）
小山隆史	（阿部・和田・渡辺法律事務所）
茂木鉄平	（大江橋法律事務所）
Ms. Nancy Alas	（同志社大学）

【ゲスト】

Prof. Yun Zhao (University of Hong Kong) ; Prof. Choong Soo Han (Hanyang University)

【プレムート・コンフェレンス】

Pre-moot Conference in Kobe

February 21, 2015 13:00~17:00

第8回大会の問題で取り上げられている国際商事仲裁に関連した最新の論点のいくつかについてそれぞれを専門とする国際的な研究者が広い視野からそれを客観的に分析し説明し、それに関して模擬仲裁に参加する学生諸君が様々な質問や議論を行うことを目的として開催した。

Venue: Lecture Hall 163, Law Faculty Building, Rokkodai Campus, Kobe University

Opening Remarks

1. Introduction to International arbitration with Vis Problem (20~30min)

- by Mr. Shinji Ogawa (JCAA Osaka)

Discussion (20~30min)

2. Effective Use of Provisional Measures in Cross-border disputes (20~30min)

- by Prof. Choong Soo Han (Hanyang University)

Discussion (20~30min)

3. How to Manage Multi-Party Disputes (20~30min)

- by Mr. Mikihiro Ochi (Kobe University, Graduate School of Law)

Discussion (20~30min)

4. Oral Advocacy in arbitration(20~30min)

- by Prof. Yun Zhao (University of Hong Kong)

Discussion (20~30min)

Closing Remarks